

## 深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業に関する説明会議事概要

日 時：平成26年8月23日（土）午前10時から11時20分まで

場 所：深沢学習センター 1階 第1集会室

出席者：48名（21自治町内会）

市側出席者：斎藤拠点整備部深沢地域整備課長、杉浦係長、武部副主査、小林主事、西村

### ○議事

次第に従い、「主旨説明」、「深沢地域整備事業」及び「土壌汚染対策処理等」について内容を説明し、質疑応答を行った。

### [質疑応答の概要]

#### 次第3 事業の説明

出席者A： 都市マスタープランの位置づけに、新駅構想を視野に入れながらとある。この計画とのつながりを視野に入れるということだと思うが、そうすると、駅をつくるための負担や駅とのアクセスの関係で、かなり大きな計画の変更が必要になるのではないかと。また、JRが新しく駅をつくる場合は地元負担をかなり求めると聞いている。市民に負担を求めなければならないということで、新しく駅をつくる必要があるのかという思いがある。

一方、ここに新しく3,000人の人を住まわせるとなると、現在、交通アクセスは非常に不便な地域なので、藤沢、大船、鎌倉に人が移動することに対して、どのような計画があるか。3,000人の人達の生活というのは、この中で完結するわけではなく、地域とのつながりが出てくるので、その辺りの計画や構想について説明していただきたい。

市： 両市一体のまちづくりは、国鉄から清算事業団用地が生まれたことをきっかけに、駅も含めた計画づくりを始めた。しかし、藤沢市の計画が進まないことなどもあり、鎌倉市だけでもまちづくりを先に進めようということで、平成16年に深沢地域のまちづくり基本計画を策定している。このときも、新駅を意識した計画づくりをしているが、駅の構想がはっきりした段階で、もう一度藤沢市と計画を合わせていこうということになっていた。

費用負担については、駅が請願駅になるので、ある程度出てくることが考えられる。ただ、鎌倉市としては、ごみ問題等の課題を抱えていることや駅が藤沢市にあるということで、今の段階では新駅を意識しながらも慎重な姿勢をとっている。

また、まちをつくるにあたっては交通処理が大変重要になってくるので、交通事業者であるモノレールとバスとの協議はしている。しかし、ご指摘のとおり10年くらいでまちが出来上がった時にそれだけではなかなか処理しきれないだろうということで、新駅構想を中心において検討をしているところである。事業着手までに新駅に対する方向性を出していけば、人口が張り付くまでに交通機関の整備が十分進むのではないかと考えている。

出席者B： 今年の6月に都市計画決定を予定していたものが、新ごみ焼却施設の候補地になったことで手続きを見合わせているということで、藤沢市側も不信感があるとも聞いている。深沢地域整備課としても複雑な思いがあると思うが、もし、ごみ焼却施設が当該地に決

定された場合、事業区域は建設予定地を外して設定するのか。

また、長い時間かけて説明して、作ってきた土地利用計画などは、そのコンセプトから変わってくると思う。その場合、今までご説明してもらったことが、全く白紙状態になるのではないか。

市 : 今のご質問については我々も悩んでおり、6月議会での報告後、環境部も同席し、ごみ焼却施設の候補地選定の経過を権利者さんに説明させていただいた。その中では、「まちづくりのテーマの『ウェルネス』もごみが入ってくるとどうなるのか」という意見があった。また、土地区画整理事業では、権利者さんから『減歩』という形で土地を提供してもらい道路や公園を整備するが、「ごみ焼却施設のために土地を提供するのではない」という厳しいご意見もいただいている。

仮に、計画地がごみ焼却施設の建設地になった場合は、事業が成り立つのかということも検討しなければならず、場合によっては土地利用計画の見直しも必要ではないかと考えている。また、事業の手法や事業の区域についても、もう一度権利者さんに諮りたいと考えている。権利者さんの合意形成が図れなければ計画自体が作れないので、そのときは計画をやり直すことになると考えている

ごみ焼却施設については、今泉や名越にあるような施設ではなくて、熱供給施設や災害時の拠点になるような施設を環境部は考えている。ただ、現時点では候補地の一つになっているというだけの状況なので、そういった環境部での検討の推移を見守りながら、今は都市計画決定手続の中での公述意見などに対応し、候補地が一つに決定した場合にすぐに対応できるようにしていきたいと考えている。

## 次第5 その他

出席者C : 今後の説明会は、深沢地区の全自治町内会を対象として開催して欲しい。

市 : ご要望を受けて、全自治町内会を対象としていくよう検討したい。対象範囲が広いので、回数を分けて開催していくことも考えていきたい。

出席者D : 直接説明会には関係ないが、梶原川内の張り出し歩道沿いには防犯灯がなく、JR社宅がすべて空家になってしまい建物の明かりもないため、非常に暗いと地域の方から聞いている。仮設等でもいいが、防犯灯の仮設などは考えていないか。

市 : JR社宅の方で管理していた防犯灯については、町内会さんへの移管が完了していると聞いている。新たな設置については、今回ご要望いただいたということで、関係課に相談したい。

以 上